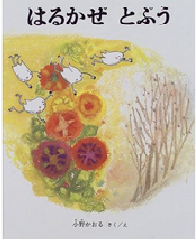





3歳児クラス 4月 第3回 「はるかぜとふう」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> つむじかぜが起こる場面や、ライオンが怒る場面は、声の強弱をつけながらダイナミックに表現する。 季節を感じることば（かげろう、はるかぜ）や、動物たちの表情や動きを感じとれることば（ゆらゆら、むにやむにやむにや、めちやめちや、ちりぢりなど）の場面では子どもたちがその状態や言葉を理解しやすいように意識して読む。 途中「ようちえん」の表記は「ほいくえん」と読み替えて良い 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペーパーサート (とふう)	保育士の役割	
導入	「とふう」のペーパーサートを持って登場。手人形などを併用し寝てしまふ演出。「とふう」と一緒にみんなも「ふうーっ」と言って起こしてあげよう。などと子どもたちも参加しながらお話の導入としても良い。	<ul style="list-style-type: none"> お話終了後うちわで扇ぎながら登場 	 

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	運筆力	クレヨンの握り方を確認し、片手で紙をしっかり押さえ力強く「ぐるぐる」線を描くことができる	
設問	「ぐるぐる」と言いながら、大小のうずまき（つむじかぜ）を描きましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> お話終了後、保育者うちわで「びゅー！」とつむじ風のように強く扇ぎながら登場。講師や子どもをダイナミックに扇ぐ。 			教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「わあ！風が気持ちいいね！」もう1本のうちわを持ち、一緒に風を起こす。 気持ちいい。冷たい。ふわっとする。など子どもたちと風を十分に体感する。 保：「ゆらゆらゆら・・・見て見て！木がゆれているよ。びゅーー！」プリントを揺らしながら提示。 講：「みんなもクレヨンで風さんを描いてみよう」クレヨン提示。見本行動。（この時ぐるぐる描く動きに合わせてエレピでリズムを刻むとより動きがスムーズになり盛り上がる） <ol style="list-style-type: none"> ①クレヨンをしっかり握る（鉛筆握りの確認） ②「片手はポン」をキーワードにしっかりプリントを押さえる ③「♪小さくぐるぐる（つむじ風）」「♪大きくぐるぐる（つむじ風）」など動きに合わせて大小の声で唱えながらうずまきを描く プリント、クレヨンを配布。腕まくり。握り方の確認。態勢を整えてからスタートさせる。 途中「スタート」「ストップ」の合図に合わせてダイナミックにうずまきを描いたり。やさしくゆっくり「春風」や「強い風」に見立てて長い線、雨に見立ててタッピング等を行っても良い 最後子どもたちの作品を見せ合い「良かったところ」を褒め賞賛。「楽しかったね」と達成感をもって終了。クレヨン、プリントを回収する。 			P 1 ※提示用はボードなどに貼って準備する ★クレヨン
				保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> うちわを持って強く風を吹かせながら登場 プリント、クレヨンの配布 エレピ演奏 	

活動②		ねらい	巧緻性	指示を理解し、線の上をはさみで切り、正しい場所にクリップを止めてくるくる回る飛行機を完成させる	※実物参照
設問	くるくる紙飛行機をつくりましょう				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 講：「今日は良いもの作ってきたんだー」とポケットを覗き込み興味を誘う 				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの視線が向いたところで「紙飛行機」提示。 講：子どもたちが見やすい位置に移動し、高い位置から飛ばして見せる。楽しげに何度か繰り返し興味を引く。「みんなも作って一緒に遊ぼうか？」意欲を持って活動に参加させる。 講：指示書の順番（①②③）通り見本を見せながら一緒に作っていく。教材はそのつど必要なもの（①台紙→②はさみ→③クリップ）を配布する。 <p>※はさみを配る前に台紙の切り込み線、特に途中で止めることを確認する</p> <p>※クリップはU時に曲がった方から挟むところがポイントです。見本行動で大クリップが必要な場合は、4月わく「11ぴきのねこ」の教材で納品されている大クリップをご使用ください。様子を見ながら個別対応をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成したら指示書の遊び方を参考に安全に配慮して遊べる場所を確保。実際に回して楽しむ。 子どもたちと一緒に遊び方・回し方を工夫しながら回すのも良い。子どもたちからの新しい発見やアイデアが出てきたら皆で共有する。 余裕があれば一つの机にクレヨンを準備。自由にマークや色を塗って飛ばすのも変化が見えて楽しい。 扱い方で途中で切れる子もいます。制作途中なら予備の台紙をそのまま。遊んでいる途中なら線を切ってあるものを準備して渡す。（またはセロテープで補強する） スペースが狭い場合は二人一組になり1人が飛ばし1人が拾うなど遊び方の工夫をする。 頃合いを見て「終了」の合図。家庭に持ち帰るはもちろんのこと、通常の保育の活動に発展させたり、「今度は外で遊んでみようか？」など期待感を持って終了する。 				<ul style="list-style-type: none"> くるくる紙飛行機 一人一枚 クリップ 一人一本 作り方指示書 ★ハサミ ★セロテープ <p>※切れた時の為に予備用が別途届いています</p> <p>※提示用に指示書を見て完成品を準備、講師のポケットなどに入れておく</p>
					<ul style="list-style-type: none"> 教材の配布（順番にそのつど配布）。 ハサミの切り方・クリップの止め方・羽の折り方必要に応じて個別指導 終了したはさみは速やかに回収

数子ヤレ		ねらい			教材
設問					
活動内容	※5月よりスタート				保育士の役割